

平成30年 秋田県の人口と人口動態[速報]

－ 秋田県年齢別人口流動調査結果[速報] －

平成30年11月

秋田県企画振興部調査統計課

秋田県では、秋田県年齢別人口流動調査報告要綱（昭和56年施行）に基づき、毎月県内市町村における出生数、死亡者数、転入者数及び転出者数などを調査集計し、国勢調査人口を基礎として毎月1日現在の県及び県内市町村の男女別人口を推計しています。また、毎年10月1日現在における県及び県内市町村の年齢・男女別人口や過去一年間の人口増減をとりまとめています。

この速報では、「平成27年国勢調査 人口等基本集計結果」を基に推計した平成30年10月1日現在の県及び県内市町村の年齢・男女別人口、並びに平成29年10月1日から平成30年9月30日まで一年間の人口増減などを取りまとめています。なお、この結果の詳細については、総務省統計局「人口推計」と合わせて「平成30年 秋田県の人口」としてまとめる予定です。

◆人口の算出方法

- ・ 県 の 人 口＝平成27年国勢調査の県人口＋（県内への転入者数－県外への転出者数）
＋（出生数－死亡数）
- ・ 各市町村の人口＝平成27年国勢調査の各市町村人口＋（県内への転入者数－県外への転出者数）
＋（出生数－死亡数）＋（県内他市町村からの転入者数－県内他市町村への転出者数）
- ・ 県の人口を算出するにあたっては、県内市町村間における転出者数及び転入者数を除いているため、県の人口と各市町村人口の合計は一致しない。
- ・ 県内市町村間における転入・転出については、届出に時間的ずれがある等のため、県内転入者数の合計と県内転出者数の合計は一致しない。
- ・ 人口及び世帯数には、外国人及び外国人世帯を含んでいる。

《 目 次 》

[結果の概要]

- 1. 総人口 2
- 2. 年齢3区分別人口 3
- 3. 市町村別人口 5
- 4. 世帯数 6

[統計表] 7～41

[参考資料] 43～72

※この調査結果についての照会は、下記まで御連絡ください。

秋田県企画振興部調査統計課 生活統計班

TEL：018-860-1258

FAX：018-860-1252

E-mail: toukeika@pref.akita.lg.jp

[結果の概要]

1. 総人口

平成30年10月1日現在の秋田県の総人口は 980,684人で、平成30年一年間(平成29年10月～平成30年9月)で 14,690人の減少となり、減少幅は前年に比べ 405人拡大した。また、人口減少率は 1.48%で前年に比べ 0.07ポイント拡大した。

平成30年一年間の出生数は 5,116人で前年に比べ 345人減少し、死亡者数は 15,396人で前年に比べ 97人減少した。この結果、自然増減数(出生者数－死亡者数)は前年に比べ 248人減少幅が拡大して 10,280人の減少、自然減少率は 1.03%となり前年に比べ 0.04ポイント拡大した。

また、平成30年一年間の県内への転入者数は 12,122人で前年に比べ 376人減少し、県外への転出者数は 16,532人で前年に比べ 219人減少した。この結果、社会増減数(転入者数－転出者数)は前年に比べ 157人減少幅が拡大して 4,410人の減少、社会減少率は 0.44%となり前年に比べ 0.02ポイント拡大した。

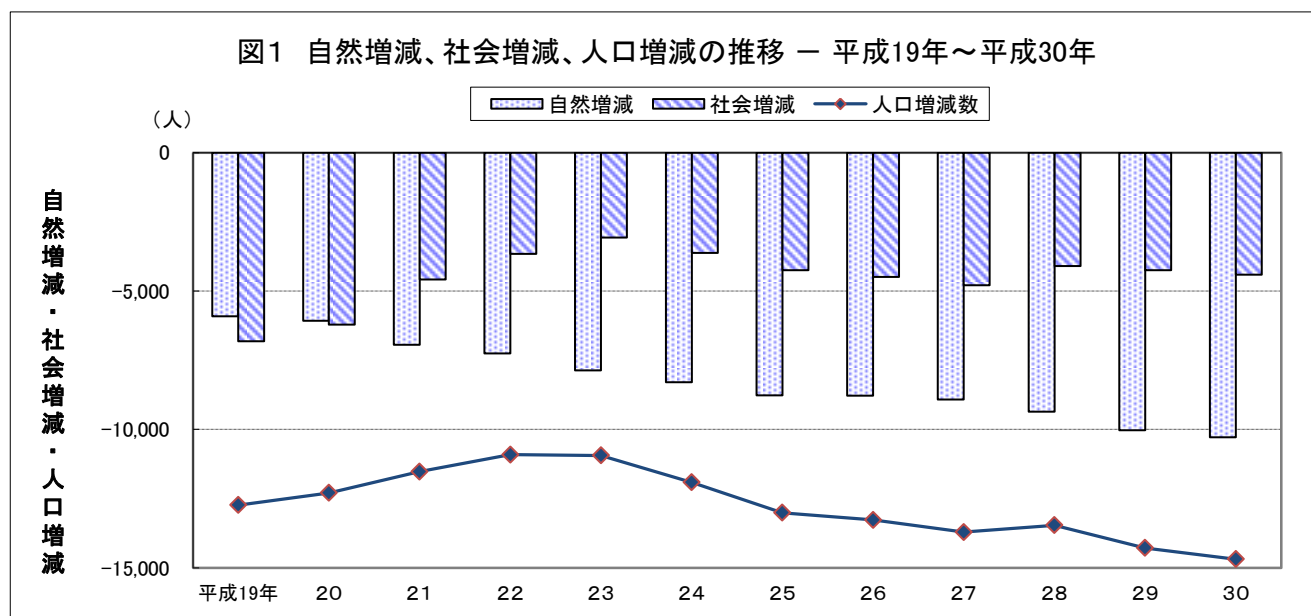
【表1】総人口及び人口増減(平成19年～平成30年)

(単位:人、% △はマイナス)

年次	総人口	人口増減		自然増減				社会増減			
		増減数	増減率	出生	死亡	増減数	増減率	転入	転出	増減数	増減率
平成19年	1,121,300	△12,736	△1.12	7,617	13,532	△5,915	△0.52	15,001	21,822	△6,821	△0.60
20	1,109,007	△12,293	△1.10	7,528	13,604	△6,076	△0.54	15,010	21,227	△6,217	△0.55
21	1,097,483	△11,524	△1.04	7,044	13,982	△6,938	△0.63	15,469	20,055	△4,586	△0.41
22	1,086,571	△10,912	△0.99	6,871	14,125	△7,254	△0.66	14,401	18,059	△3,658	△0.33
	※1,085,997										
23	1,075,058	△10,939	△1.01	6,715	14,583	△7,868	△0.72	14,444	17,515	△3,071	△0.28
24	1,063,143	△11,915	△1.11	6,505	14,798	△8,293	△0.77	13,956	17,578	△3,622	△0.34
25	1,050,132	△13,011	△1.22	6,248	15,016	△8,768	△0.82	13,797	18,040	△4,243	△0.40
26	1,036,861	△13,271	△1.26	6,077	14,862	△8,785	△0.84	13,440	17,926	△4,486	△0.43
27	1,023,151	△13,710	△1.32	5,988	14,909	△8,921	△0.86	12,959	17,748	△4,789	△0.46
	※1,023,119										
28	1,009,659	△13,460	△1.32	5,739	15,099	△9,360	△0.91	13,323	17,423	△4,100	△0.40
29	995,374	△14,285	△1.41	5,461	15,493	△10,032	△0.99	12,498	16,751	△4,253	△0.42
30	980,684	△14,690	△1.48	5,116	15,396	△10,280	△1.03	12,122	16,532	△4,410	△0.44

注) 総人口の※は国勢調査、その他は県算出による人口で各年10月1日現在である。

人口増減、自然増減、社会増減は、住民基本台帳等登録者の増減数(1年間)であり、各年とも県算出による数値である。



2. 年齢3区分別人口

平成30年10月1日現在の本県の総人口(980,684人)を年齢3区分別に分類して前年と比べてみると、15歳未満人口は97,400人で前年から3,002人(3.0%)の減少、15～64歳人口は520,829人で前年から14,527人(2.7%)の減少となった。その一方で、65歳以上人口は353,915人で前年に比べ2,839人(0.8%)増加した。

また、総人口に対する年齢3区分別人口割合をそれぞれ前年と比べてみると、15歳未満人口割合は10.0%で前年から0.2ポイント低下、15～64歳人口割合は53.6%で前年から0.6ポイント低下したが、65歳以上人口割合は36.4%で前年から0.8ポイント上昇した。

さらに、年齢構造を指数でみると、従属人口指数は86.7、年少人口指数は18.7、老年人口指数は68.0となっている。これらを前年と比べると、従属人口指数及び老年人口指数は2.4ポイントそれぞれ上昇し、年少人口指数は0.1ポイント低下した。

なお、老年化指数は363.4となって前年から13.7ポイント上昇した。

【表2】年齢3区分別人口とその割合（平成19年～平成30年）

年次	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)				年齢3区分別人口割合(%)			
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち75歳以上
平成19年	1,121,300	135,276	669,904	315,607	159,852	12.1	59.7	28.1	14.3
20	1,109,007	131,949	657,970	318,575	165,734	11.9	59.3	28.7	14.9
21	1,097,483	128,267	647,429	321,274	170,500	11.7	59.0	29.3	15.5
22	1,085,997	124,061	639,633	320,450	175,018	11.4	59.0	29.6	16.1
23	1,075,058	121,221	633,130	318,854	179,862	11.3	59.0	29.7	16.8
24	1,063,143	118,079	617,868	325,343	183,656	11.1	58.2	30.7	17.3
25	1,050,132	114,769	602,794	330,716	186,468	10.9	57.5	31.5	17.8
26	1,036,861	111,631	585,373	338,004	187,053	10.8	56.6	32.7	18.1
27	1,023,119	106,041	565,237	343,301	187,148	10.5	55.7	33.8	18.4
28	1,009,659	103,338	550,243	347,538	188,453	10.3	55.0	34.7	18.8
29	995,374	100,402	535,356	351,076	190,246	10.2	54.2	35.6	19.3
30	980,684	97,400	520,829	353,915	191,032	10.0	53.6	36.4	19.7

注)平成22年及び27年は国勢調査人口、その他は県算出入口による。総人口には年齢不詳の者を含む。

【表3】年齢構造指数（平成19年～平成30年）

年次	年齢構造指数			
	従属人口 指数 ^(※1)	年少人口 指数 ^(※2)	老年人口 指数 ^(※3)	老年化 指数 ^(※4)
平成19年	67.3	20.2	47.1	233.3
20	68.5	20.1	48.4	241.4
21	69.4	19.8	49.6	250.5
22	69.5	19.4	50.1	258.3
23	69.5	19.1	50.4	263.0
24	71.8	19.1	52.7	275.5
25	73.9	19.0	54.9	288.2
26	76.8	19.1	57.7	302.8
27	79.5	18.8	60.7	323.7
28	81.9	18.8	63.2	336.3
29	84.3	18.8	65.6	349.7
30	86.7	18.7	68.0	363.4

◆年齢構造指数の算出式

※1 従属人口指数

$$\frac{(15歳未満人口 + 65歳以上人口)}{(15～64歳人口)} \times 100$$

※2 年少人口指数

$$(15歳未満人口) \div (15～64歳人口) \times 100$$

※3 老年人口指数

$$(65歳以上人口) \div (15～64歳人口) \times 100$$

※4 老年化指数

$$(65歳以上人口) \div (15歳未満人口) \times 100$$

注)平成22年及び27年は国勢調査人口、その他は県算出入口による。

図2 秋田県の人口ピラミッド(平成30年10月1日現在)

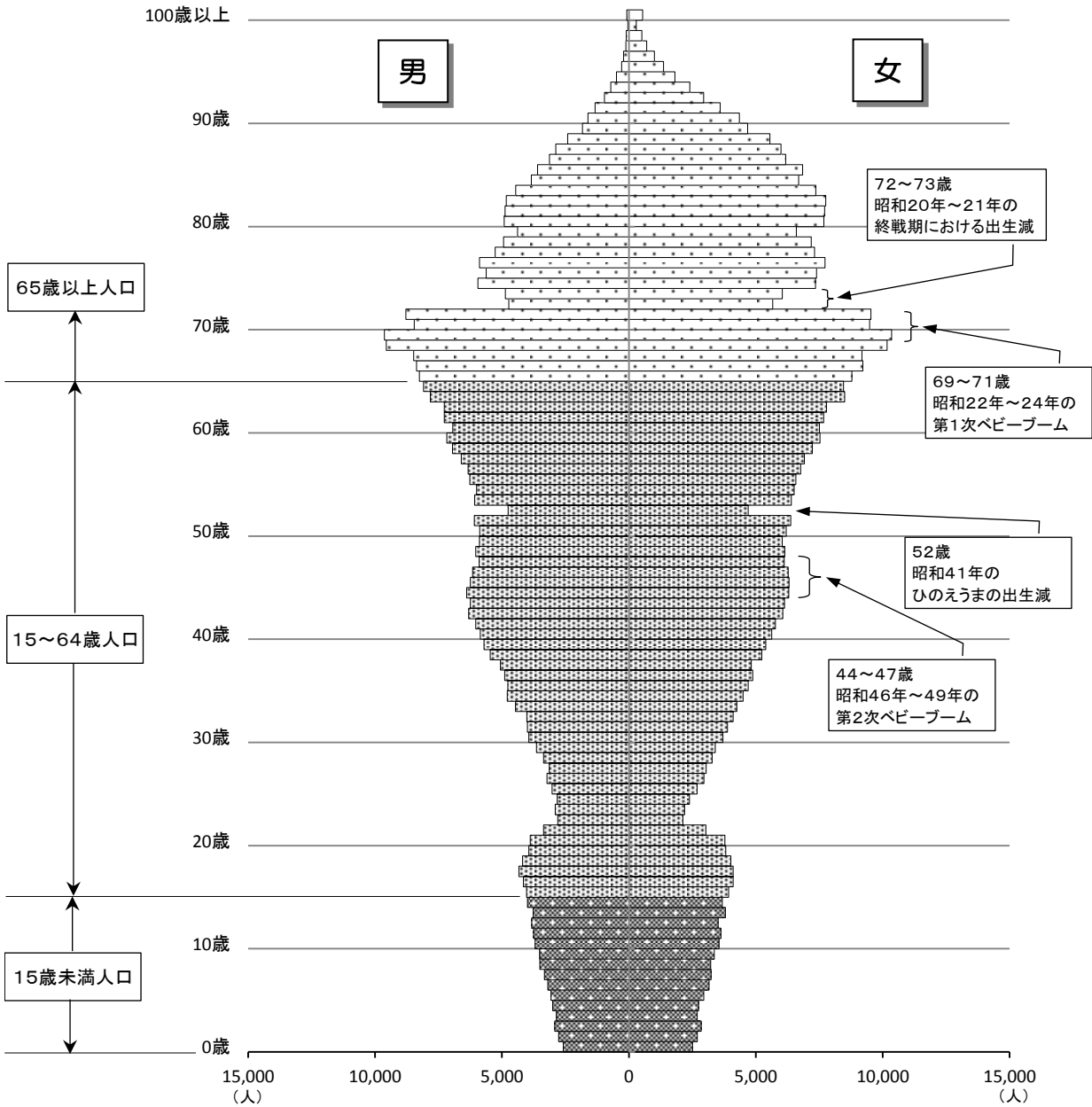
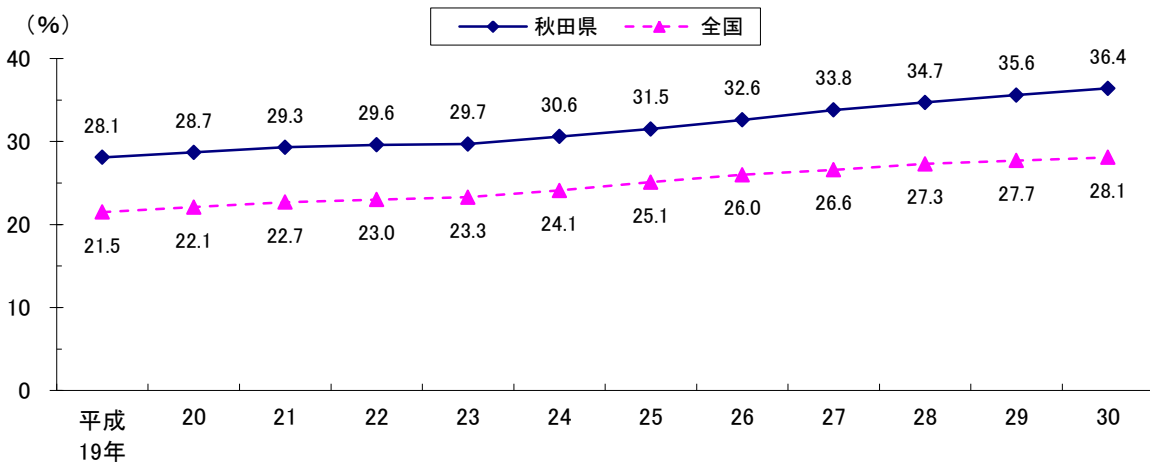


図3 全国と秋田県の65歳以上人口割合 — 平成19年～平成30年



(注) 平成22年及び27年は国勢調査、その他は総務省統計局及び秋田県の算出による。
ただし、平成30年の全国は、総務省統計局(平成30年10月22日公表)による概算値である。

3. 市町村別人口

(1) 市町村別人口及び人口増減

平成30年10月1日現在の市町村別人口をみると、秋田市が308,482人で最も多く、次いで横手市87,960人、大仙市79,171人、由利本荘市76,522人、大館市71,119人などとなっている。総人口に占める市町村別人口の割合は、人口が最も多い秋田市が県人口全体の31.5%を占めている。なお、県内市部(全13市)の人口が県人口全体の90.7%を占めている。

【表4】市町村別人口

			平成30年10月1日現在		
市町村名	人口 (人)	構成比率 (%)	市町村名	人口 (人)	構成比率 (%)
秋 田 市	308,482	31.5	小 坂 町	4,971	0.5
能 代 市	51,826	5.3	上小阿仁村	2,171	0.2
横 手 市	87,960	9.0	藤 里 町	3,099	0.3
大 館 市	71,119	7.3	三 種 町	16,000	1.6
男 鹿 市	26,392	2.7	八 峰 町	6,824	0.7
湯 沢 市	43,886	4.5	五 城 目 町	8,792	0.9
鹿 角 市	30,300	3.1	八 郎 潟 町	5,763	0.6
由 利 本 荘 市	76,522	7.8	井 川 町	4,700	0.5
潟 上 市	32,310	3.3	大 潟 村	3,051	0.3
大 仙 市	79,171	8.1	美 郷 町	19,339	2.0
北 秋 田 市	31,292	3.2	羽 後 町	14,307	1.5
に か ほ 市	24,010	2.4	東 成 瀬 村	2,527	0.3
仙 北 市	25,880	2.6			
市 部 計	889,150	90.7	郡 部 計	91,544	9.3
			市 郡 計	980,694	100.0
			県 計	980,684	

注) 県計は、県内市町村間の移動数を除いて算出しているため、市郡計とは一致しない。

また、県内25市町村全てで前年(平成29年10月1日)に比べ人口が減少している。人口減少率が最も高かったのは藤里町の3.34%、次いで上小阿仁村の3.21%、男鹿市の2.76%などとなっている。このほか、五城目町、八峰町、羽後町、小坂町、仙北市、湯沢市、三種町、八郎潟町の合計11市町村で人口減少率が2%を超えている。

【表5】市町村別人口増減率 — 平成30年

順位	市町村名	増減率	順位	市町村名	増減率	順位	市町村名	増減率
—	秋 田 県	-1.48%	9	横 手 市	-1.63%	17	仙 北 市	-2.09%
1	大 潟 村	-0.62%	10	に か ほ 市	-1.80%	19	小 坂 町	-2.11%
2	潟 上 市	-0.69%	11	井 川 町	-1.82%	20	羽 後 町	-2.43%
3	秋 田 市	-0.87%	12	北 秋 田 市	-1.94%	21	八 峰 町	-2.44%
4	美 郷 町	-1.13%	13	能 代 市	-1.95%	22	五 城 目 町	-2.60%
5	東 成 瀬 村	-1.29%	14	鹿 角 市	-1.98%	23	男 鹿 市	-2.76%
6	大 館 市	-1.48%	15	八 郎 潟 町	-2.04%	24	上 小 阿 仁 村	-3.21%
7	大 仙 市	-1.53%	16	三 種 町	-2.06%	25	藤 里 町	-3.34%
8	由 利 本 荘 市	-1.55%	17	湯 沢 市	-2.09%			

(2) 市町村、年齢3区分別人口割合

・15歳未満人口割合

最も高いのは大潟村の12.9%、以下、秋田市10.9%、潟上市10.7%の順などとなっている。一方、最も低いのは上小阿仁村の5.8%、次いで男鹿市及び八峰町7.3%の順などで、県内25市町村のうち17市町村で10%未満となっている。

・15～64歳人口割合

最も高いのは秋田市の58.1%で、以下、潟上市及び大潟村55.2%の順などとなっている。一方、最も低いのは上小阿仁村の41.9%で、次いで藤里町46.0%、男鹿市47.4%の順などとなっている。

・65歳以上人口割合

最も高いのは上小阿仁村の52.2%で、以下、藤里町46.5%、男鹿市45.3%の順などとなっている。一方、最も低いのは秋田市の31.0%、次いで大潟村31.9%、潟上市34.1%の順などとなっている。

県内25市町村全てで30%を超えており、さらにこのうち上小阿仁村で50%台、藤里町、男鹿市、八峰町、五城目町、小坂町、三種町、北秋田市、井川町、八郎潟町、仙北市、能代市、東成瀬村の12市町村で40%台となっている。

【表6】市町村、年齢3区分別人口割合の順位 — 平成30年10月1日現在

順位	市町村名	15歳未満人口割合	順位	市町村名	15～64歳人口割合	順位	市町村名	65歳以上人口割合
—	秋 田 県	10.0%	—	秋 田 県	53.6%	—	秋 田 県	36.4%
1	大 潟 村	12.9%	1	秋 田 市	58.1%	1	上小阿仁村	52.2%
2	秋 田 市	10.9%	2	潟 上 市	55.2%	2	藤 里 町	46.5%
3	潟 上 市	10.7%	2	大 潟 村	55.2%	3	男 鹿 市	45.3%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
23	男 鹿 市	7.3%	23	男 鹿 市	47.4%	23	潟 上 市	34.1%
23	八 峰 町	7.3%	24	藤 里 町	46.0%	24	大 潟 村	31.9%
25	上小阿仁村	5.8%	25	上小阿仁村	41.9%	25	秋 田 市	31.0%

4. 世帯数

平成30年10月1日現在の世帯数は、389,302世帯で前年に比べて63世帯(0.02%)増加した。これを1世帯当たりの人員で見ると2.52人となり、前年に比べて0.04人の減少となった。

【表7】世帯数の推移（平成19年～平成30年）

(単位：世帯、%、人)

	世 帯 数	増 減 数	増 減 率	1世帯当たり 人 員
平成19年	395,822	911	0.23	2.83
20	396,828	1,006	0.25	2.79
21	397,453	625	0.16	2.76
22	※390,136	1,145	0.29	2.78
23	391,082	946	0.24	2.75
24	392,187	1,105	0.28	2.71
25	392,715	528	0.13	2.67
26	393,459	744	0.19	2.64
27	※388,560	141	0.04	2.63
28	389,101	541	0.14	2.59
29	389,239	138	0.04	2.56
30	389,302	63	0.02	2.52

注) 「世帯数」の※は国勢調査、その他は県算出による。

「増減数」は、住民基本台帳登録等のあった増減数(1年間)であり、各年とも県算出による数値である。